



◎本ニュースレターは、木曾三川流域におけるエコロジカル・ネットワーク形成に関連する地域の取り組み情報を発信するものです◎

みなさんの思いを、みなさんの言葉で届けたい！ そんな思いから、今回よりエコネット応援団のみなさんから寄せられた活動報告を掲載しています。お互いを知ること、より深くつながるきっかけになるよう、応援団のみなさんと一緒にニュースレターをつくっていきたいと思いますので、ぜひ、みなさんの日頃の取組や活動のレポートをお寄せください。

■2022年 9月13日(火)〔岐阜県海津市津屋川〕木曾川下流河川事務所さんより活動報告です！

川の生き物ふれあい体験を行いました！

木曾川下流河川事務所では、海津市下多度小学校4年生の皆さんと川の生き物ふれあい体験を津屋川で行いました。この体験活動は、ニホンウナギ生態系ネットワーク推進部会の活動の一環として石倉カゴを用いたニホンウナギの生態調査と合わせて行いました。

普段は、川で遊ぶ機会のない小学生のみなさんに、ニホンウナギをはじめとする様々な生き物の観察や、ライフジャケットを身に着けて実際に川に入る体験等をしてもらいました。

最初は、恐る恐るエビやカニ等の生き物を触っていた子どもたちも、最後はすっかり慣れて、皆熱心に観察をしていました。(ウナギを手づかみできる子も！)

体験後のアンケート等では、「ウナギに触れて楽しかった」「川に入ったり、川の中で生き物をみれて楽しかった」「生き物がたくさんいて良い経験だった。家族にもどんな生き物がいたか伝えたい」等の感想をいただきました。

生き物を観察し触れ合う体験を通して、川の環境や生態系についての理解も深まったのではないかと思います。



▲ウナギの手づかみに挑戦！



▲貝を触る小学生たち



▲獲れた生き物と小学生たち



▲石倉カゴを観察する様子

■2022年 9月17日(土)〔愛知県名古屋市 久屋大通公園〕

環境デーなごや2022 劇団シンデレラさんが 藤前干潟の魅力を発信！

環境デーなごや2022が開催されました。今年のテーマは「子役のみなさんが藤前干潟の様子を伝えました」
「藤前干潟ラムサール条約登録20周年～つなげよう！命の輝きいきものつながり～」です。生物多様性について考え、SDGsに取り組むことを目標にしています。

今回は、昨年度応援団に仲間入りした劇団シンデレラさんが、湿地の魅力を伝えるブース展示や、藤前干潟の生き物のつながりを紹介する記念ステージの公演を行いました。

イベントを終えた劇団シンデレラさんよりコメントをいただきましたので、ご紹介いたします。

イベントを終えて ～劇団シンデレラさんのコメント～

藤前干潟が、ラムサール条約に登録されて20周年がたちました。この記念すべきお祝いの環境デーなごやで劇団シンデレラの子役達がステージで、藤前干潟を守ってくださった多くの市民の方に感謝を伝えます。

「藤前干潟はいきものたちのすみかです。世界の宝物。私たち、子どもが守っていく」と、ラムサール575 藤前干潟バージョンを未来につながるよう空にむかって踊り、客席のみなさんの手拍子が未来につながる約束に聞こえました。話すことのできない生きものたちに代わって、お礼を言わせてください。

「藤前干潟を大切にしてくれてありがとう」 劇団シンデレラ



▲子役のみなさんが藤前干潟の様子を伝えました

■2022年 9月1日～12日〔愛知県・岐阜県〕

今年もイタセンパラがやってきた！ イタセンパラの受け入れ式が行われました

環境省中部地方環境事務所様より、愛知県と岐阜県の小中学校や資料館など、イタセンパラの飼育展示を行っている14カ所の施設に、今年もイタセンパラの生体が貸与されました。羽島市立桑原学園と羽島市立中島小学校ではイタセンパラの受け入れ式が行われ、イタセンパラの飼育方法等に関する講義や子どもたちによるイタセンパラの引越しなどを行いました。

イタセンパラが水槽に移されると、子どもたちは水槽の周りに集まり、夢中になってイタセンパラの様子を眺めながら「とてもかわいい。イタセンパラを守るために自分たちが普段できることについて考えていきたい」と話していました。みなさんで大切に育ててくださいね♪

イタセンパラは、一部の施設では一般公開されています。お立ち寄りの際は、群れて泳ぐかわいらしいイタセンパラを観察してみてください。



▲羽島市立桑原学園の様子

イタセンパラの産卵期は10月前後の秋です。このころになるとイタセンパラのオスはきれいな紫色になります。

イタセンパラを見ることができる施設

- ・一宮市尾西歴史民俗資料館 (一宮市起字下町211)
- ・国営木曾三川公園 河川環境楽園 自然発見館 (各務原市川島笠田町)
- ・三井住友信託銀行 一宮支店 (一宮市栄3-7-15)
- ・尾西信用金庫 本店 (一宮市尾西1-4-3) など

※見学できるのは各施設・店舗の営業時間中に限ります (無料)



2022年10月6日(金)～8日(土)〔愛知県一宮駅東口銀座通り〕



SDGs AICHI EXPO 2022にて 応援団のグッズ配布・ブース展示を行いました

10月6～8日にかけて、日本最大級のSDGs推進フェア「SDGs AICHI EXPO 2022」が開催されました。企業や自治体、NPO、学校など多主体・多世代が連携し、ブース展示による活動紹介やステージ公演などが行われました。

最終日の8日には、エコネット応援団事務局の(株)建設環境研究所も出展し、木曾三川をはじめとした流域の生き物の保全に関する取組みの紹介や、エコネット応援団のPR活動を行いました。また、ステージイベントでは、劇団シンデレラさんによるSDGsミュージカル「ぼくこの森に住んでいます」が公演されました。

当日は、エコネット応援団のグッズも配布し、そのなかでも特に缶バッジが好評で、お子さんや魚好きの来場者にとっても喜んでいただけました。

「木曾三川流域エコネット応援団」事務局では、パネル・ポスター資料の貸出など応援団の皆さんの活動を支援しています。

貸出中の資料

- ① 応援団ロゴマークデータ (提供)
- ② 記念撮影パネル (貸出)
- ③ 応援団ロゴ入りのぼり旗 (貸出)
- ④ 応援団缶バッジ (提供)
- ⑤ 指標種の生態紹介ポスター (提供)
- ⑥ 木曾三川流域の守りたい環境と生きものクリアファイル (提供)
- ⑦ 応援団腕章 (貸出)



▲木曾三川流域エコネット応援団缶バッジ (見本)

ご希望の方は、下記の事務局窓口までお問い合わせください。

ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディング (大垣市) ～豊かな湧き水に生きるトゲウオ～郷土の宝「ハリヨ」を守りたい!～

「水の都」といわれる大垣市には、冷たくきれいな水の中にかすむことができず、滋賀県北東部と岐阜県西南濃地方にしか生息していないトゲウオ科の淡水魚「ハリヨ」がいます。大垣市では「ハリヨ」と呼ばれ親しまれています。

大垣市の豊かな水環境のシンボルとしての「ハリヨ」を守り、次世代へ残していくために、大垣市では、クラウドファンディングにて寄付を募集しています。みなさんからの寄付は、ハリヨの生息地のひとつ「西之川ハリヨの池広場」の生息環境の整備のために使われます。

皆様の温かいご支援をお願いいたします。

お申込みはこちらから!

寄付募集期間：2022年8月19日～11月16日



▲クラウドファンディングのWEBページ
<https://www.furusato-tax.jp/gcf/1825>

アンケート調査 ご協力をお願い

事務局では、応援団の皆様の活動支援を目的として、イベント情報等の発信や支援ツールの提供などを実施しています。今後の支援内容の充実のため、これまでの利用状況や今後のご要望等をお伺いするアンケートを実施することとなりました。

ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

回答方法 下記URLまたは右のQRコードよりアクセス
< <https://questant.jp/q/W4OQJP4U> >

所要時間 5～10分程度

※各団体代表の方1名がご回答ください。

回答期限 令和4年11月28日(月)



投稿募集! 日頃のみなさんの取組や活動を ニュースレターで紹介しませんか?

木曾三川流域エコネット応援団事務局では、みなさんの日頃の活動や取組、イベントなどを、より詳しくニュースレターで紹介するために、応援団のみなさんからのレポートを募集しています。日頃の活動報告や、イベントの報告など、情報共有をはかることで、応援団同士の交流や協働を促進していきたいと思っています。

ぜひ、みなさんの活動報告を下記に記載の事務局窓口までお寄せください。みなさんの投稿をお待ちしています。

facebookページはこちらからアクセス!
<https://www.facebook.com/kisosanseneconet/>



掲載用情報を募集しています!

事務局では、このニュースレターやfacebookページで、木曾三川流域におけるエコロジカル・ネットワーク形成に関連する地域の取り組み情報を発信しています。生物多様性の保全や生きものを活用した地域づくりなど、応援団の皆さんからの投稿・情報提供を随時募集中です。下記お問い合わせ先まで、お気軽に情報をお寄せください。(なお、紙面の都合等で取材・掲載できない場合もありますこと、予めご了承ください。)



木曾三川流域生態系ネットワーク推進協議会(事務局:国土交通省木曾川上流河川事務所)は、川とともに育まれてきた流域の自然や文化を保全・活用し、地域の魅力を向上させるとともに、人と自然・人と人の絆を深めることを目的とし、流域の市民団体・自治体・有識者・河川管理者等によって、平成26年度に設立されました。

本協議会では、木曾三川流域において、自然環境を保全・再生・創出してつなげる「生態系ネットワーク形成」に関連する活動を行う(または賛同する)、地域のさまざまな団体等に参加していただく「木曾三川流域エコネット応援団」を結成しています。応援団の皆さんの活動に関する情報共有等を図ることにより、地域の交流・協働を促進し、取り組みのさらなる発展を目指していきます。

「木曾三川流域生態系ネットワーク」ホームページ <<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojo/econet/index.html>>

木曾三川流域エコネット応援団 事務局:国土交通省 木曾川上流河川事務所 調査課 (岐阜県岐阜市忠節町5-1)
【問い合わせ先】木曾川上流河川事務所 調査課 e-mail: cbr-kisojo-choa@mlit.go.jp / tel: 058-251-1125 / fax: 058-251-1150

